

## 参考

• • ••

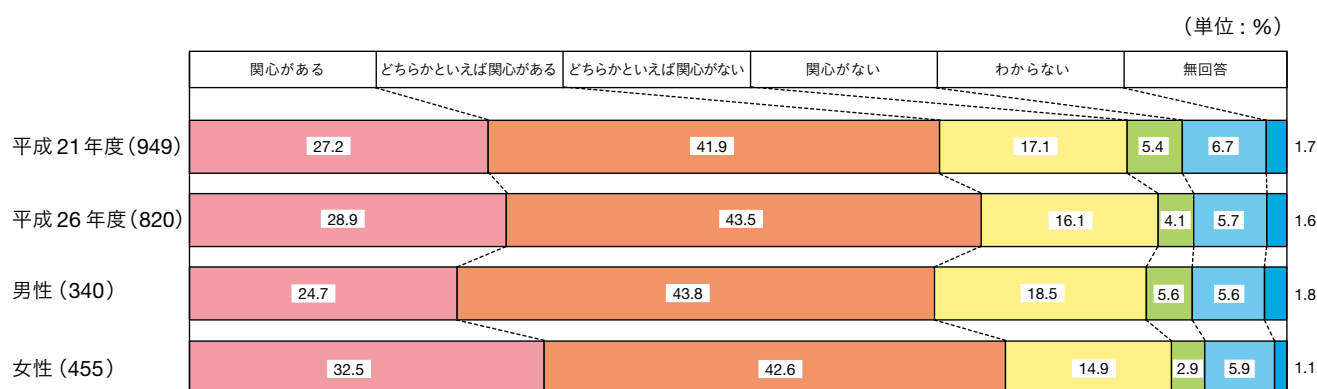


# 1 定量的な評価

## (1) 食育に関心がある区民の割合

「食育」への関心度は、「関心がある」(28.9%)と「どちらかといえば関心がある」(43.5%)を合わせた《関心がある》は72.4%でした。性別でみると、《関心がある》は女性の方が男性より6.6ポイント高く、逆に「関心がない」と「どちらかといえば関心がない」を合わせた《関心がない》は男性の方が6.3ポイント上回っていました。

2009(平成21)年度と比較すると、《関心がある》は3.3ポイント増加し、《関心がない》は2.3ポイント減少していました。

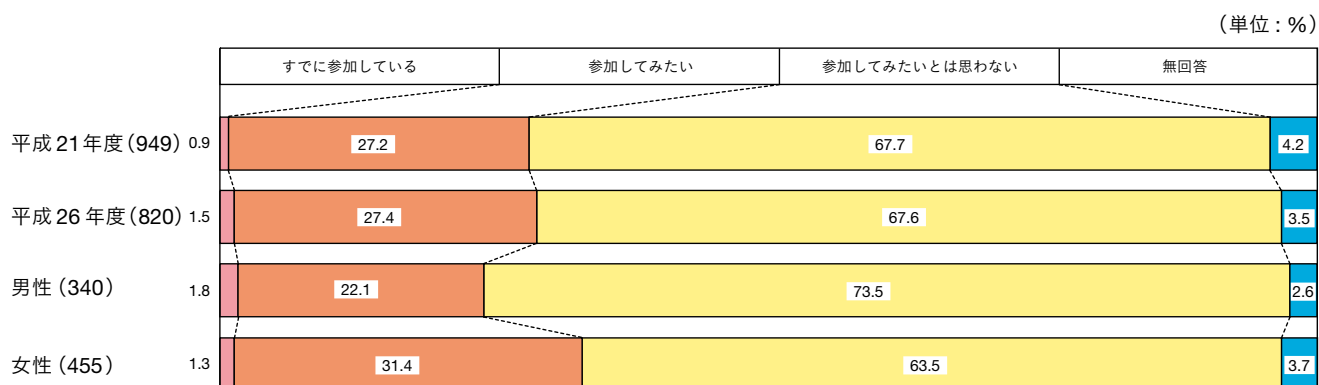


出典:「健康」に関する区民アンケート調査2015(平成27)年3月

## (2) 食育のボランティア活動に参加したいと思う区民の割合

食育の推進に関わるボランティア活動への参加意欲は、「すでに参加している」が1.5%で「参加してみたい」は27.4%となっていました。しかし、「参加してみたいとは思わない」が67.6%と最も高くなっていました。性別でみると、「すでに参加している」と「参加してみたい」は女性の方が男性よりも8.8ポイント高く、逆に「参加してみたいとは思わない」は男性の方が10ポイント上回っていました。

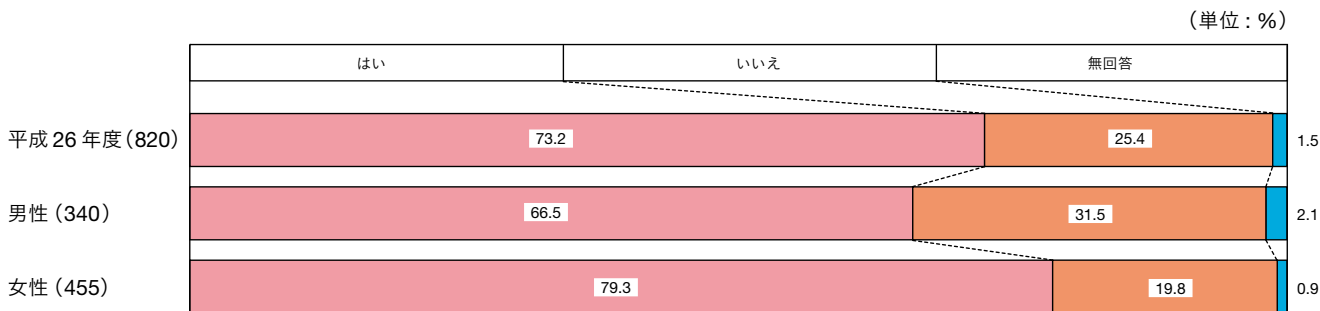
2009(平成21)年度との比較では、大きな変化はみられませんでした。



出典:「健康」に関する区民アンケート調査2015(平成27)年3月

### (3) よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある区民の割合

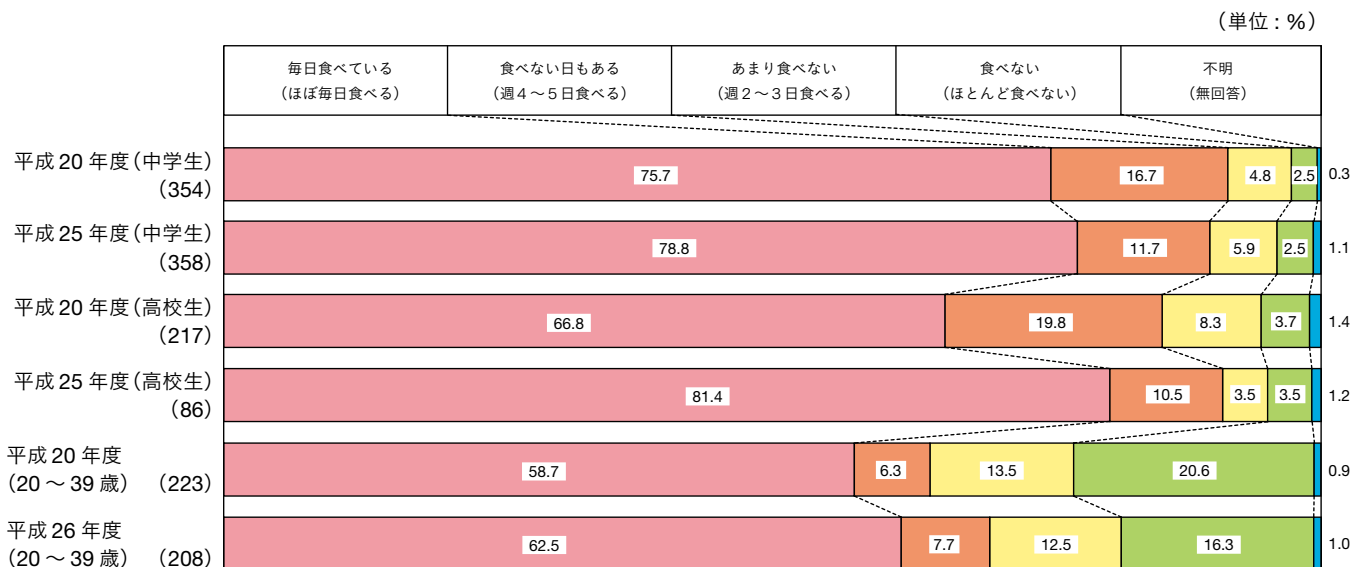
食べ方に関心があるかどうかについて「はい」が73.2%で高く、「いいえ」が25.4%でした。性別で見ると、「はい」は女性の方が男性よりも12.8ポイント高く、逆に「いいえ」は男性の方が女性よりも11.7ポイント上回っていました。（\*前計画にて調査追加項目）



出典：「健康」に関する区民アンケート調査2015（平成27）年3月

### (4) 朝食をとっている区民の割合

- ① 中学生 中学生では、「毎日食べている」（78.8%）と、「食べない日もある」（11.7%）を合わせた《食べる》は、90.5%でした。
- ② 高校生 高校生では、「毎日食べている」（81.4%）と、「食べない日もある」（10.5%）を合わせた《食べる》は、91.9%でした。
- ③ 20～39歳 20～39歳では、「ほぼ毎日食べる」（62.5%）と「週4～5日食べる」（7.7%）を合わせた《食べる》は70.2%でした。
- ④ 比較 《食べる》を2008（平成20）年度と比較すると、中学生では1.9ポイント減少していましたが、高校生では5.3ポイント増加、20～39歳では5.2ポイント増加していました。



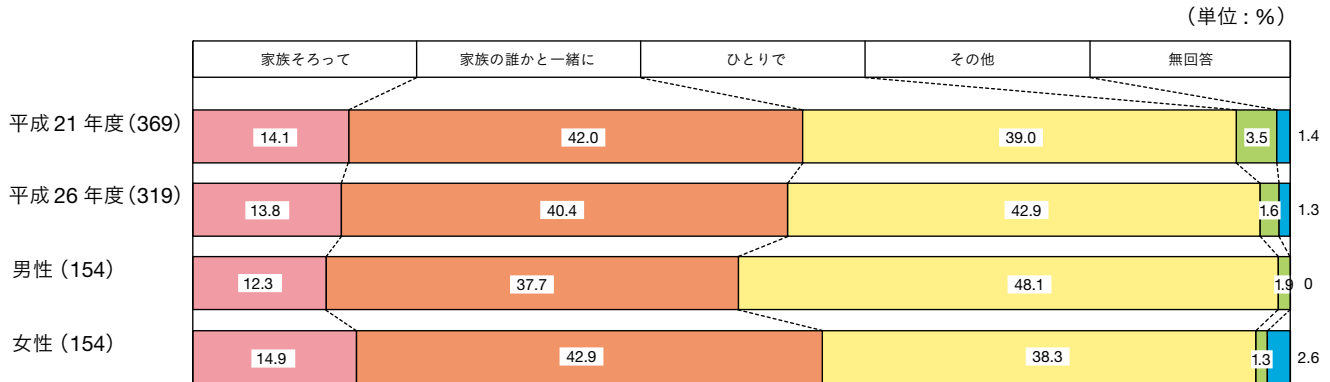
出典：墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査 墨田区青少年の生活等に関する調査2014（平成26）年3月  
「健康」に関する区民アンケート調査2015（平成27）年3月

## (5) 朝食を家族と一緒に食べる中学生の割合

朝食と一緒に食べる相手は、「ひとりで」が42.9%で最も高く、次いで「家族の誰かと一緒に」が40.4%となりました。

性別でみると、「ひとりで」は、男性の方が女性より9.8ポイント高くなりました。

2009（平成21）年度と比較すると、「ひとりで」が3.9ポイント増加していました。



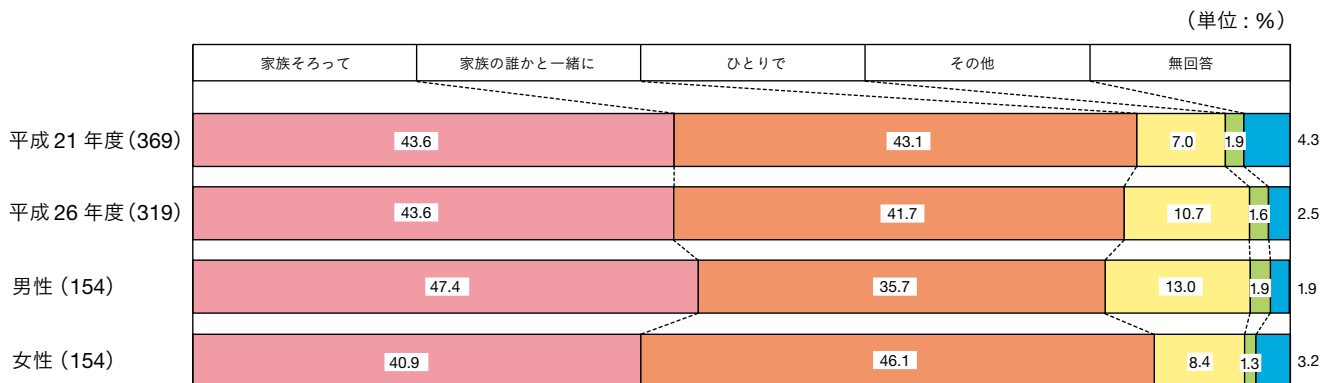
出典：「健康」に関する区民アンケート調査2015（平成27）年3月

## (6) 夕食を家族と一緒に食べる中学生の割合

夕食と一緒に食べる相手は、「家族そろって」（43.6%）が最も高く、「家族の誰かと一緒に」（41.7%）と合わせると85.3%でした。

性別でみると、男性の方が女性より「家族そろって」と「家族の誰かと一緒に」が3.9ポイント低く、「ひとりで」が4.6ポイント高くなりました。

2009（平成21）年度と比較すると、「ひとりで」が3.7ポイント増加していました。



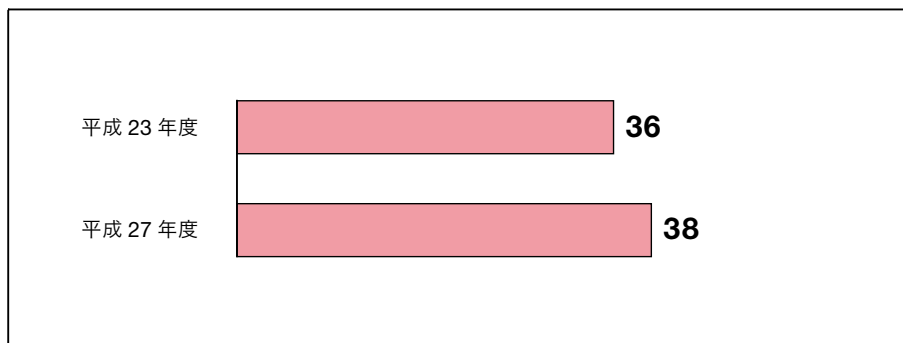
出典：「健康」に関する区民アンケート調査2015（平成27）年3月

## (7) やさしいまちメイトにおける飲食店及び食材を取扱う企業・店舗の数

「やさしいまちメイト」への登録企業・店舗数は、38 団体となり、2009（平成 21）年度から 2 団体増加しました。

\* 「やさしいまちメイト」への登録要件は、「すみだ家庭の日」（毎月 25 日）に協賛事業・サービスを実施することです。

（単位：団体）



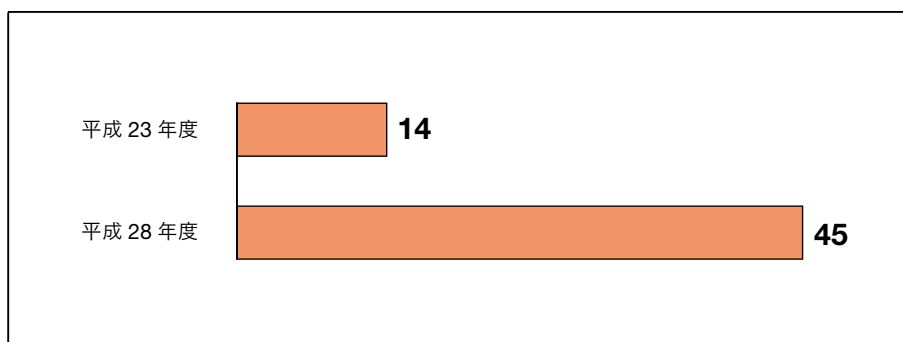
出典：所管調査データ

## (8) すみだモダン ブランド認証事業(飲食店メニュー部門)に認証された飲食店などの数

ブランド認証事業により「すみだモダン」に認証されたメニューの数は 45 件で、2011（平成 23）年度と比較すると 31 件増加しました。

\* 「すみだモダン」は、すみだという地域をイメージでき、その魅力を高めることのできる商品及び飲食店メニューを、すみだ地域ブランド推進協議会が認証しています。

（単位：件）

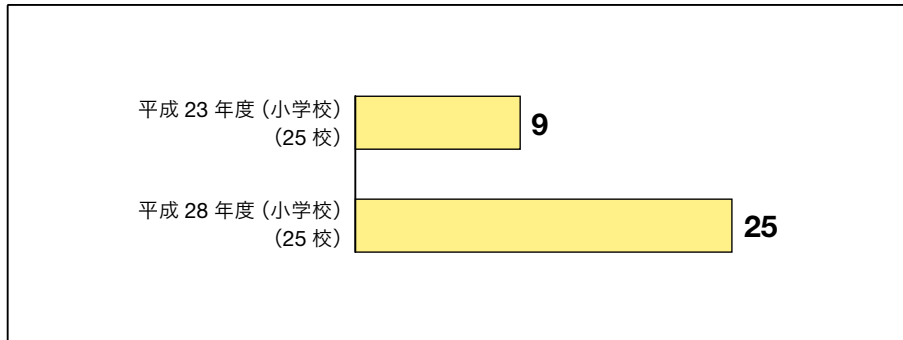


出典：所管調査データ

## (9) 学校給食における地場（東京都）産物を使用する学校の数

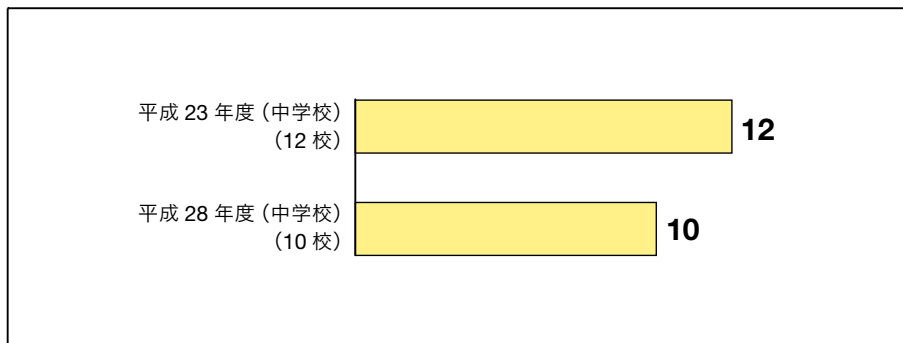
区内の小学校及び中学校の給食は、各学校で作る「自校方式」によって提供を行っています。2011（平成23）年度は中学校の全校で東京都産の産物を使用していましたが、小学校では25校中9校の実施でした。2016（平成28）年度には小学校でも全校で取り入れるようになり、小学校・中学校のすべての学校での実施となりました。

（単位：校）



出典：所管調査データ

（単位：校）



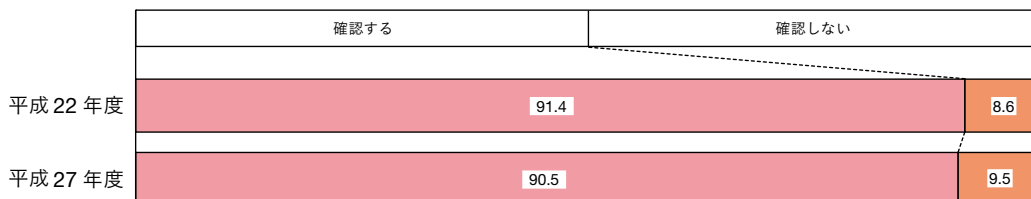
出典：所管調査データ

## (10) 食品を購入するときに表示を確認する区民の割合

食品の表示を確認するかでは、2015（平成27）年度は90.5%となり、2010（平成22）年度の91.4%と比較すると0.9ポイント減少していました。

食品表示法の施行によって表示内容などが大幅に見直され、より詳細な記載となったことで、消費者の安心につながった裏返しと言えるのかもしれませんが。

（単位：%）



出典：墨田区基本計画に係る区民アンケート調査 2015（平成27）年

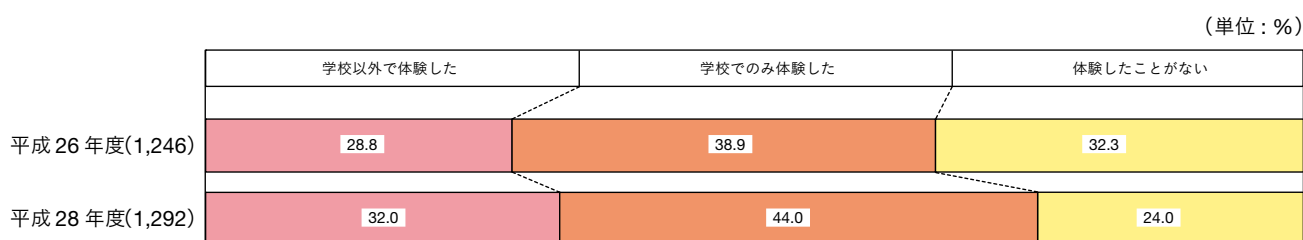
## (11) 学校の活動以外で農業・漁業体験をした中学生の割合

平成 26 年度から中学 3 年生を対象に毎年調査を実施しました。（\* 調査追加項目）

### ① 農業体験

今までに農業体験をしたことがある中学生は全体の 76.0% でした。しかし、学校以外の家庭や地域などで体験したことがある割合は全体の 32.0% となりました。

2014（平成 26）年度と比較すると、体験したことの割合が 8.3 ポイント増加し、学校以外で体験したことの割合も 3.2 ポイント増加していました。

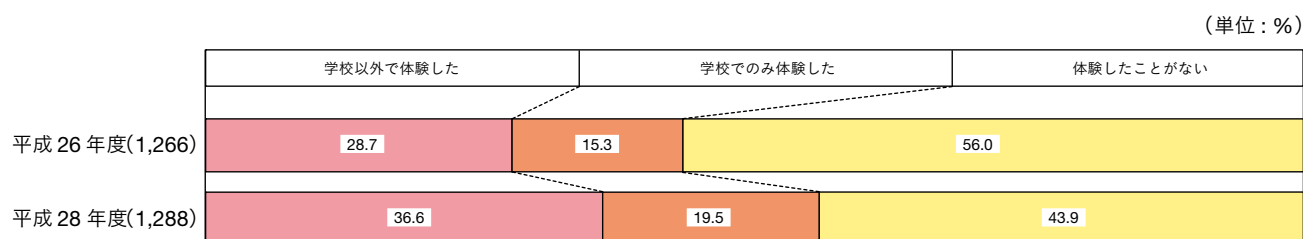


出典：所管調査データ

### ② 漁業体験

今までに漁業体験をしたことがある中学生は全体の 56.1% でした。しかし、学校以外の家庭や地域などで体験したことがある割合は全体の 36.6% となりました。

2014（平成 26）年度と比較すると、体験したことの割合が 12.1 ポイント増加し、学校以外で体験したことの割合も 7.9 ポイント増加していました。



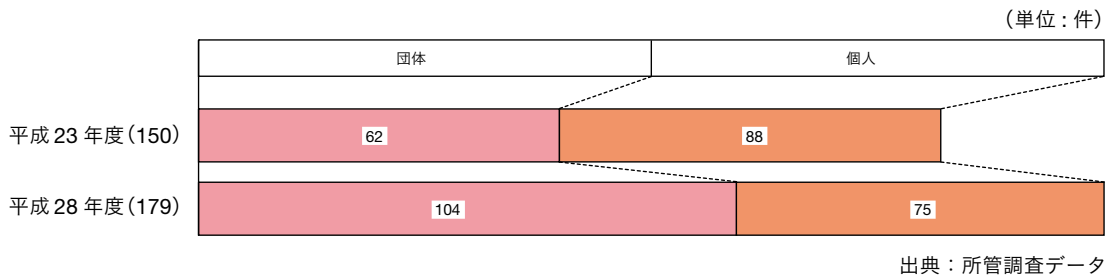
出典：所管調査データ



## (12) 食育の取組に関わる地域団体、事業者、企業などの件数

協働による「民」の食育活動の軸となる団体として前計画に位置づいているすみだ食育 good ネットに加入している団体会員（地域団体、NPO、事業者、企業、大学など）の数と食育イベントに協力している団体などの数及びすみだ食育 good ネットに加入している個人会員数の合計は、179 件となりました。

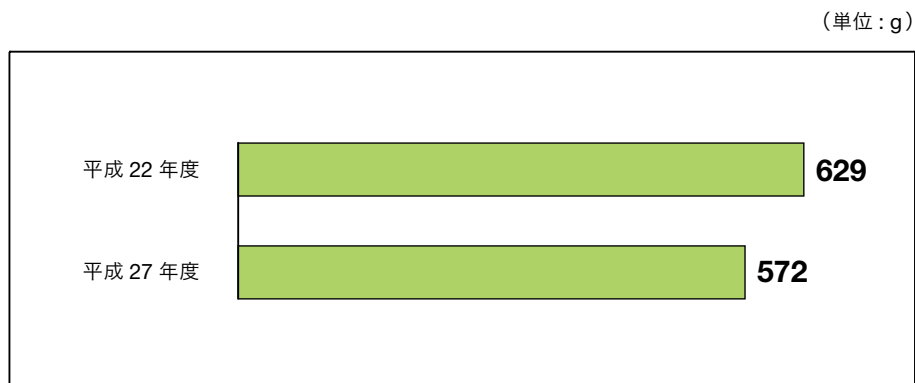
2011（平成 23）年度と比較すると、「個人」は 88 件から 75 件に減少していますが、地域団体や事業者などの「団体」が 62 件から 104 件に増加しています。これは、すみだ食育 good ネットの個人会員だった方々が団体などを立ち上げ、会員の種別を変更していることが要因の 1 つとして挙げられます。



## 参考 区の他の計画における食育関連指標：2 項目

### (1) 区民一人一日当たりのごみ排出量

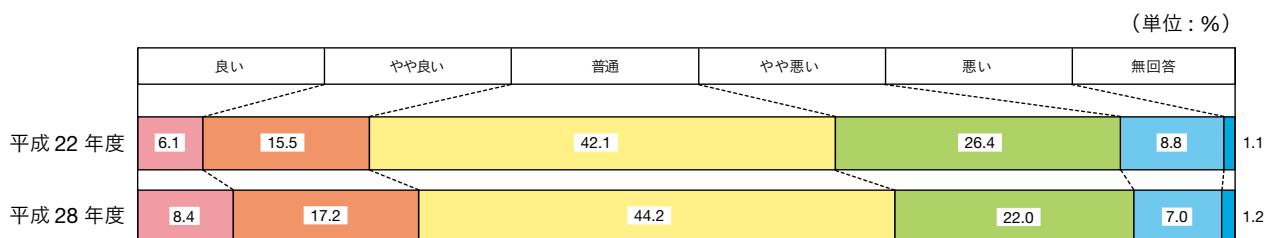
区民一人が一日に出しているごみの量は、2015（平成 27）年度は 572 g となり、2010（平成 22）年度の 629 g と比べると 57 g 減少していました。家庭ごみの多くは、調理くずや食べ残しなどの生ごみです。家計にも環境にもやさしい調理方法や作る量を心がけることによって、より減らすことができます。



## (2) 公園や緑地に満足している区民の割合

緑の豊かさに満足しているかでは、「よい」(8.4%)と「ややよい」(17.2%)を合わせると25.6%でした。

2010(平成22)年度と比較すると、4ポイント増加していました。



出典: 墨田区住民意識調査2016(平成28)年

## 2 定性的な評価

本計画では「食」を通じた取組について、定性的な評価を行いました。

5つの基本目標及び基本理念にある「手間かけて」に沿った設問項目を設定し、2012(平成24)年度から2016(平成28)年度にアンケート調査を行い、食育の取組が進むことで、どのように広がり、深まったのか、テキストマイニング手法(形態素分析、共起分析、クラスター分析)を用いて分析を行い、意識傾向の見える化を図りました。

### 設問項目

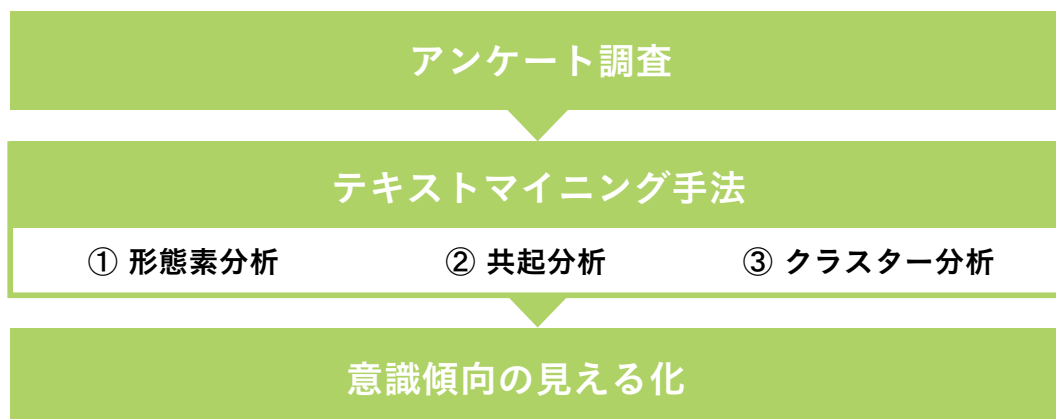
評価項目・(質問)	
設問1	食で「ひと」が育まれているかを把握する指標 (質問) 食について生涯を通じて学ぶことは、なぜ大切だと思いますか。
設問2	食で「家庭」が育まれているかを把握する指標 (質問) 家庭で一緒にごはんを食べることは、なぜ大切だと思いますか。
設問3	食で「まち」が育まれているかを把握する指標 (質問) 「すみだの食」に誇りがもてることは、なぜ大切だと思いますか。
設問4	食で「安心」が育まれているかを把握する指標 (質問) 安心して食べ物が手に入ることは、なぜ大切だと思いますか。
設問5	食で「協働」が育まれているかを把握する指標 (質問) 様々な人と一緒に食育に取り組むことは、なぜ大切だと思いますか。
設問6	「すみだらしい食育文化」が育まれているかを把握する指標 (質問) 「手間かけて」という言葉がスローガンとして掲げられたことをどう思いますか。

## アンケート回答数

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
回答数	352	372	253	720	246

\*平成 27 年度：第 10 回食育推進全国大会 in すみだ 2015 開催（回答数は区民のみ）

## 分析方法



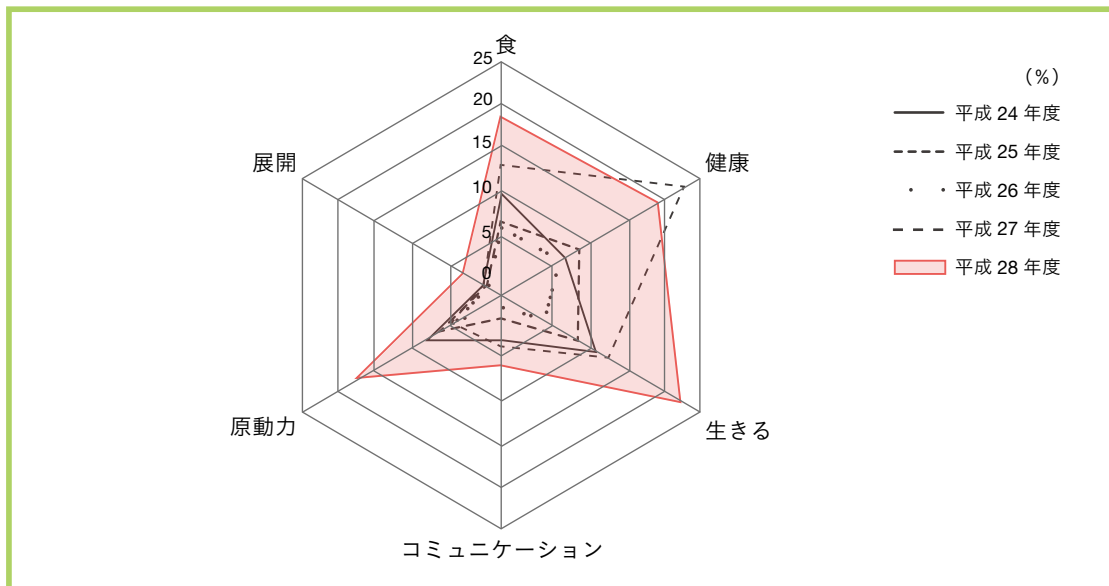
## 分析の手順

- ① 形態素分析を行い、語彙<sup>ごい</sup>の出現件数の明確化を行う。
- ② 語彙の関連を視覚化するため共起分析を行う。
- ③ 系統化・見える化に関する分析の充実のためクラスター分析を行う。
- ④ 6つのカテゴリーに分類し「定性的評価の指標」を見出す。
- ⑤ 「定性的評価の指標」を用い、レーダーチャートの作成を行う。

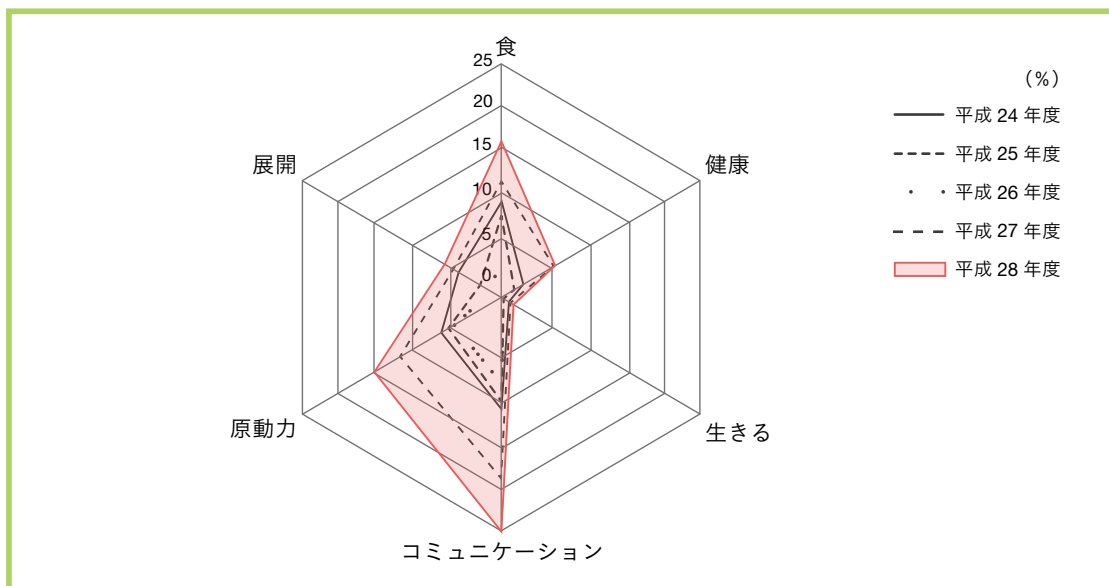
## 定性的評価の指標

6つのカテゴリー	単語
① 食	食、食事、食生活 など
② 健康	健康、長生き、健やか など
③ 生きる	生きる、人生、命 など
④ コミュニケーション	コミュニケーション、つながり、協働 など
⑤ 原動力	楽しい、愛情、大切 など
⑥ 展開	取組、育む、育 など

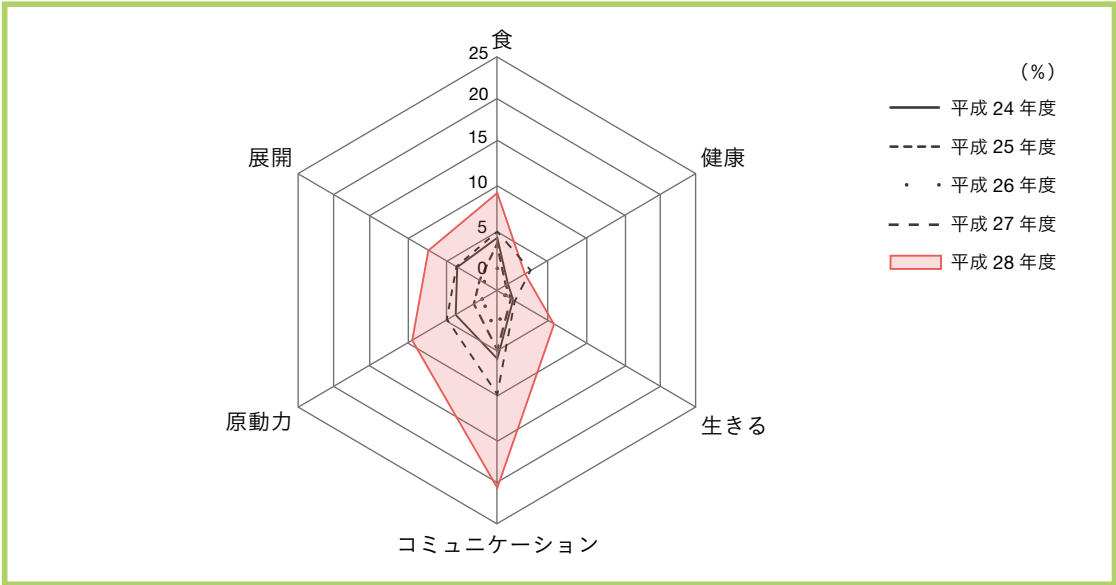
**設問1** 食について生涯を通じて学ぶことは、なぜ大切だと思いますか。



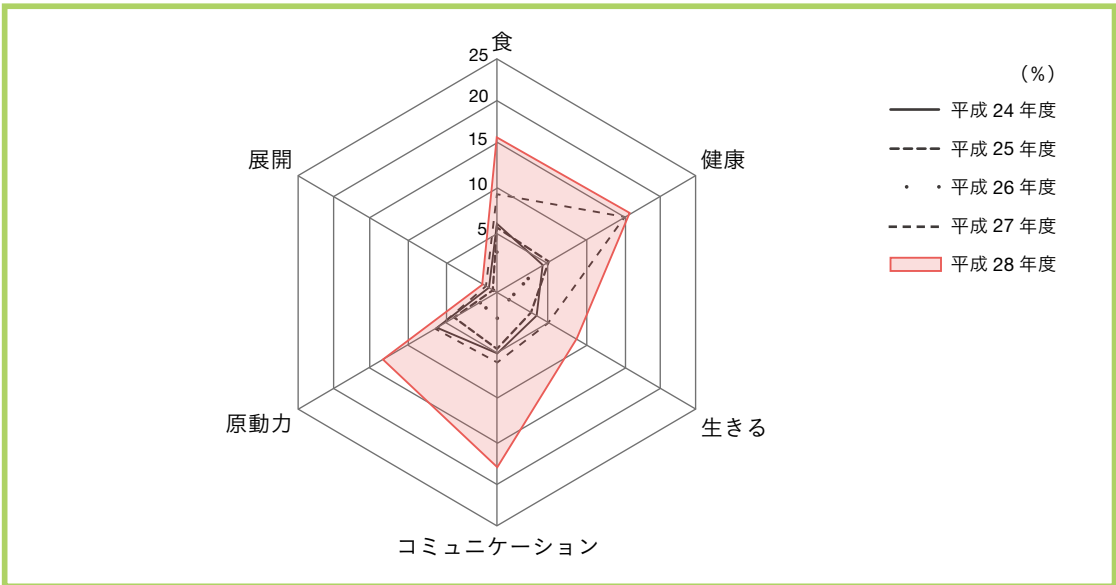
**設問2** 家庭で一緒にごはんを食べることは、なぜ大切だと思いますか。



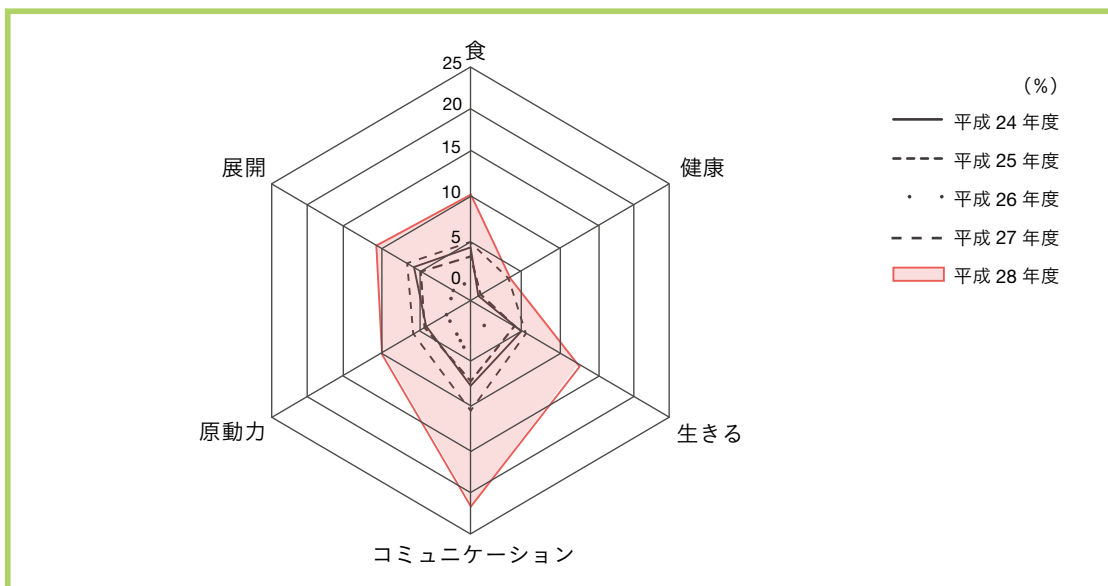
**設問3** 「すみだの食」に誇りがもてることは、なぜ大切だと思いますか。



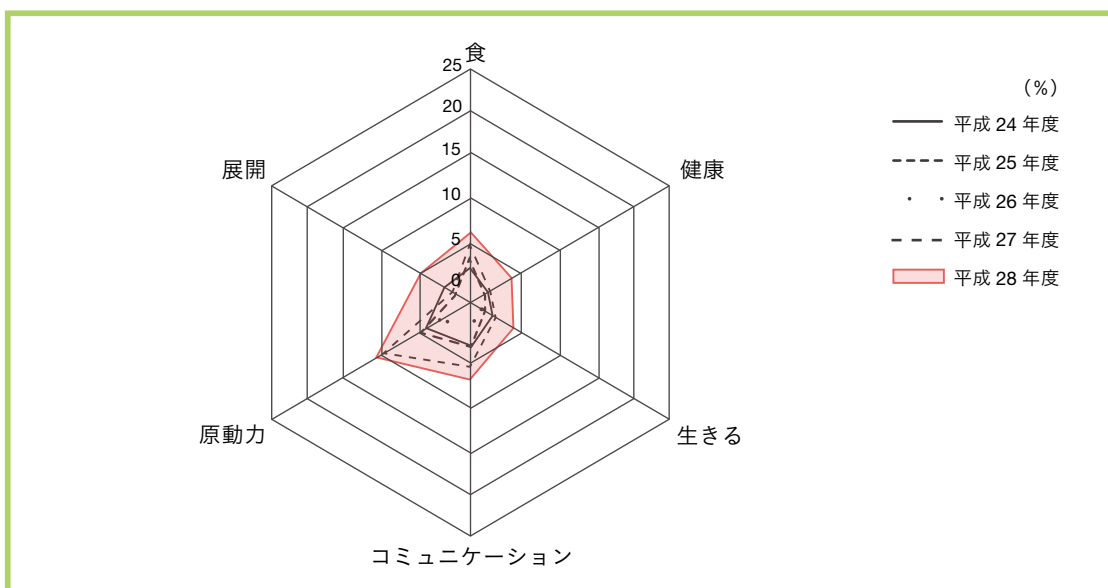
**設問4** 安心して食べ物が手に入ることは、なぜ大切だと思いますか。



**設問5** 様々な人と一緒に食育に取り組むことは、なぜ大切だと思いますか。



**設問6** 「手間かけて」という言葉がスローガンとして掲げられたことをどう思いますか。



6つのすべての設問について、2012（平成24）年度から2016（平成28）年度における変化を追った結果、6つのカテゴリーにおいて、全体の語における出現割合が増加していることが分かりました。

このことから第10回食育推進全国大会を経て、参加者の「食・健康・生きる・コミュニケーション・原動力・展開」に関する意識が高まってきていることが推察されます。

今後、引き続きこの評価指標に基づき分析を行うことで「すみだの食育」がどのように発展していくかを把握し、改善を図ります。

### 3 特徴的な活動事例

2012（平成24）年度から2016（平成28）年度までの5年間に行われた特徴的な事例を抽出し、ヒアリング調査を行いました。その結果、「食育」をキーワードに、これまでの食育活動を通して、新たなつながりを生み出していることが明らかになりました。

■ 主催、○ 関係団体など

#### ① すみだ環境フェア ■ すみだ環境フェア実行委員会（事務局：環境保全課）

○ 地域団体、NPO、事業者、企業、各種学校、児童館、生産者、すみだ食育 good ネット、すみだ清掃事務所など

2006（平成18）年度より「環境月間」である6月に合わせ、区民一人ひとりが環境にやさしい暮らしを実践するきっかけにしておもらおうと、毎年「すみだ環境フェア」を実施している。実行委員会形式で区内の団体と企業が中心となり運営。若い世代の参加・協力もあり、区内の高校生や、専門学校からの出展がある。「すみだ環境フェア」において食育のワークショップを通して「食育」の普及啓発を行うことができた。



#### ② エコライフ講座 ■ 環境保全課

○ 飲食店、NPO、事業者、企業、地域団体、すみだ食育 good ネットなど

2012（平成24）年度より、食品を無駄にしないことをテーマとした「食育体験講座エコ de おいしいクッキング」を毎年実施し、食と環境のつながりについて学ぶ。参加した区民からは参加して意識が変わったとの声が多く、楽しみながら環境に優しい生活（エコライフ）を上手にとり入れていくことの大切さを実感してもらうことができた。

今後も地域で料理と環境に優しい生活を体験できる場を増やし、地球環境を考えた暮らしが自然とできるような活動につなげていく。



### ③ すみちゃんカレープロジェクト ■ すみだ地域栄養ネットワーク

#### ○ 企業、病院、保育園、学校、すみだ食育 good ネットなど

2007（平成19）年度に東京ビジネスサービス株式会社の総料理長がすみだの特長である「隅田川」「ちゃんこ」からイメージして根菜類の多い和風だしの「すみちゃんカレー」を開発した。

2010（平成22）年度にすみだ地域栄養ネットワークの声かけにより「すみちゃんカレープロジェクト」を立ち上げた。レシピの公開などの普及活動を進め、区内の保育園や小・中学校、病院、企業などのメニューへと広がり「すみちゃんカレー」の取組を通して多様な関係者とのつながりが実現した。

今後は、これまでのつながりを活かして、災害時の食支援ネットワークにつなげていく。



### ④ <sup>とちまるくん</sup>土地廻る君 ■ すみだ食育 good ネット

#### ○ 地域団体、企業、飲食店など

2012（平成24）年度の区主催の「人材育成ワークショップ」により提案された。墨田区をPRすることを目的とし、まちと人をつなぐ“すみだグルメフェスティバル”の開催を検討し、すみだの食に関わる場所を訪ねて廻るイベントを考案した。

2015（平成27）年度にすみだ循環バス「すみまるくん」を利用して区内を廻る企画を実施した。

今後は、参加者と区内の商店街や個店をつなげ、多様なプログラムへと展開する。



### ⑤ <sup>しょくいくびと</sup>食育人に会いに行こう！ ■ すみだ食育 good ネット

#### ○ 地域団体、食品事業者、飲食店、企業など

2015（平成27）年度の第10回食育推進全国大会の際、すみだの食育の魅力は「人」とあるという思いから、食に関わる“つくり手”をゲストに招いて、こだわりと食品や料理をつくるプロセスなどの話を聞きながら、実際に“食”を楽しむという企画を行った。

活動を通して、“つくり手”同士のつながりや“つくり手”と参加者とのつながりを育むことができた。

今後は、区外の農業・漁業関係者などの生産者とも連携し、多様な方との交流の機会をつくる。





---

## ⑥ すみだ青空市ヤッチャバ ■ すみだ青空市ヤッチャバ事務局

### ○ 生産者、児童館、地域団体、事業者、すみだ食育 good ネットなど

墨田区には農家がないことから、“生産者と区民（消費者）をつなげる”ことを目的として、農家などが農産物を直接販売している。出店舗数は7～13店舗で、約50か所の地域とネットワークを結び、毎週土曜日に旬の農産物を提供している。

その他、区内の児童館などと協力し、子どもたちを生産地へ連れて行き、宿泊体験や田植え体験などを行っている。

今後も他地域との連携を増やし、生産地と墨田区をつなぐことで災害時の食支援ネットワークへと役立てていく。



---

## ⑦ すみだ農園 ■ 墨田児童会館

### ○ すみだの食育の未来を考えるワークショップ“ひとチーム”、大学生、企業、食品事業者、すみだ食育 good ネット、児童館、向島保健センターなど

2011（平成23）年度墨田区食育推進計画改定時の「すみだの食育の未来を考えるワークショップ」「ひとチーム」にて提案された。

2012（平成24）年度より、第一次産業がない墨田区で作物を栽培しながら、そのプロセスを通して「食で人を育む」ことを目的として活動を開始した。児童館が中心となり、企業から提供を受けた加工用トマトの苗を育て、収穫し、みんなで調理して食べる。この取組を通して子どもたちの食への関心が高まり、各家庭、近隣の住民、食品事業者、飲食店、企業、活動に関わる大学生などのコミュニティが育まれていった。

今後は、多様な人々が交流する機会として、この活動を地域に広げ、さらには食品開発へと結びつけていくという「夢」をもっている。



---

## ⑧ すみだ街かど食堂 ■ すみだ食育 good ネット

### ○ NPO、地域団体、墨田区社会福祉協議会など

2016（平成28）年度より子どもから高齢者まで多様な人々が一緒に食事をつくって一緒に食べることを通してゆるやかなコミュニティを育む場となることを目的としてキラキラ茶家（京島三丁目）にて取組を開始した。

今後は、フードドライブなども視野に入れ、区内で複数開催することを目指す。



## ⑨ 「食品表示カルタ」の作成と普及啓発

■ 日本食品保健指導士会、向島・本所保健センター、保健計画課

○ ステップ学級、すみだ食育 good ネット、生活衛生課など

2011（平成 23）年度墨田区食育推進計画改定時の「すみだの食育の未来を考えるワークショップ」"安心チーム"にて提案された。

食品表示法の施行（2015（平成 27）年 4 月）を視野に、2012（平成 24）年度から検討を行い、地域の関係者と庁内関係課などの協働により作成した。作成に当たっては、読み札を専門職が担当し、取り札のイラストはステップ学級の生徒が担当した。

世代や立場をこえ、各々の特性を活かすことで「食品表示カルタ」が完成し、取組を通して相互理解を深めることができた。

今後は、食品表示について楽しく学ぶ機会を地域に普及していく。



## ⑩ 食育推進ネットワークを活かした食育の取組

■ すみだ食育 good ネット

○ 区民、地域団体、NPO、事業者、企業、大学など

2010（平成 22）年、区民、地域団体、NPO、事業者、企業、大学などと区による協働の食育推進ネットワークづくりを目的に「すみだ食育 good ネット」を設立し、活動を通して個人や団体などがつながるだけでなく、世代や分野、地域をこえた様々な食育の取組を展開してきた。

今後は、地域の課題を解決する取組や「平時の食育推進ネットワーク」が「災害時の食支援ネットワーク」として機能することを視野に入れ、生産地とのつながりを広げ「すみだらしい食育」を推進していく。



## 4

## 墨田区学校支援ネットワーク事業の実施

教育分野における食育の推進は、2008（平成20）年に小・中学校の学習指導要領に盛り込まれたほか、2009（平成21）年に改定学校給食法においても「学校における食育の推進」が位置づけられました。

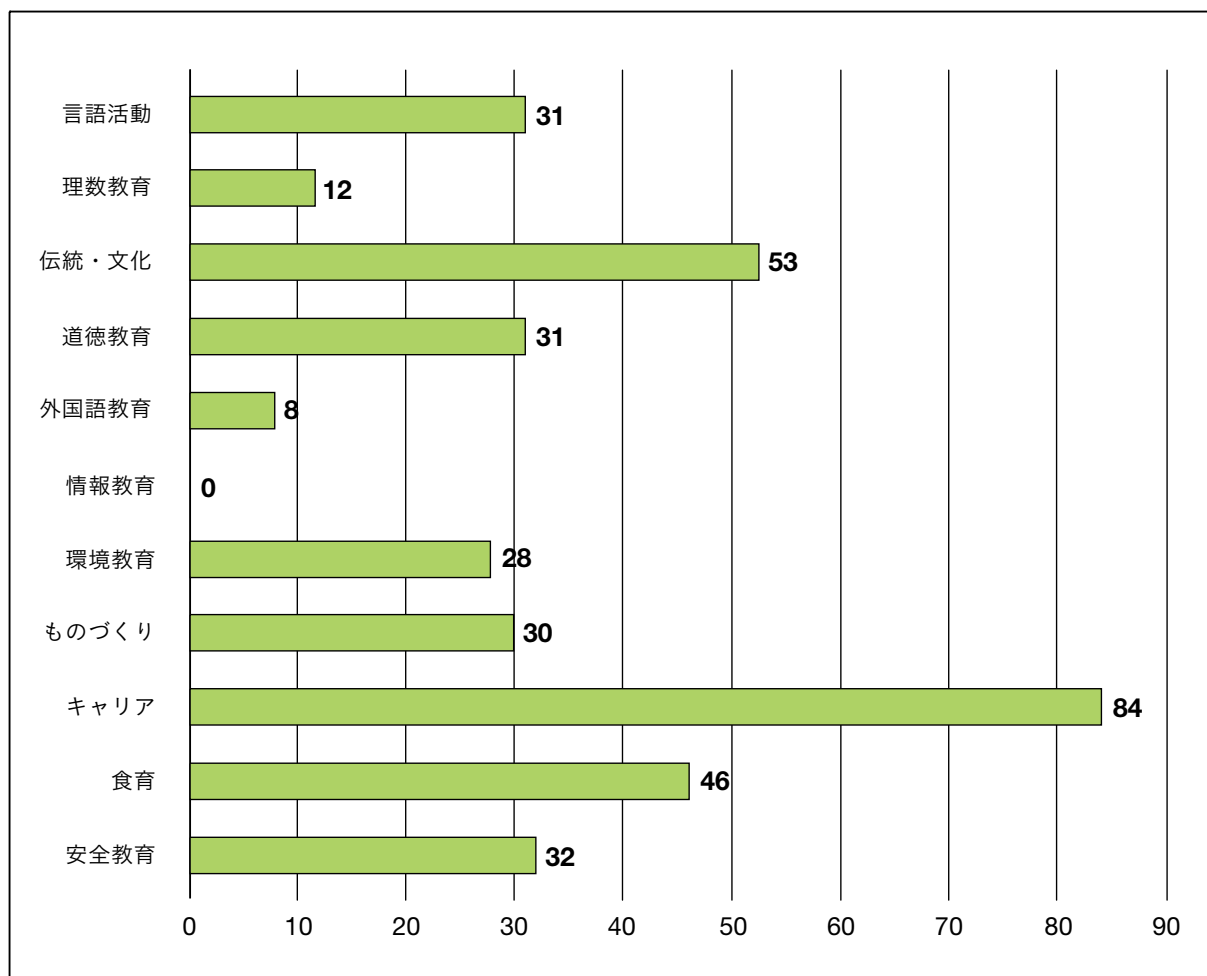
本区では、学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子育てを行う体制を整備するため、2009（平成21）年に「墨田区学校支援ネットワーク事業」を立ち上げ、小学校と中学校に「出前授業」の提供を行っています。

改訂された学習指導要領の充実すべき重要事項を基にした分類は、言語活動のほか9つと食育の計11項目です。

2016（平成28）年度、学校支援ネットワーク事業から外部の講師を派遣した実績を分野別にみると、「キャリア」（延べ84校）、「伝統・文化」（延べ53校）に次いで「食育」（延べ46校）が3番目に多いという結果でした。

平成28年度「派遣分野別」実施状況（合計延べ355校）

平成29年1月20日現在（単位：件）



出典：墨田区学校支援ネットワーク事業 平成28年度 事業報告

## 5 第10回食育推進全国大会 in すみだ 2015 の実施

2015（平成27）年6月20日、21日に、内閣府の指名により、大会の節目となる第10回目の食育推進全国大会を内閣府、墨田区、第10回食育推進全国大会すみだ実行委員会の主催にて本区で開催しました。

テーマは、「夢をカタチに！未来につなぐ豊かな食育～手間かけて“食で育む”人とまち～」とし、墨田区の食育推進の特長である食を通じた「人づくり」「まちづくり」を重視し、全国の関係者が交流し、つながりが持てるワークショップや、区内を回遊し地域とつながる街なかでの企画など、100以上のプログラムを実施しました。大会の参加者は、延べ83,400人で、これまでの大会の中では一番多い結果となりました。

### 第10回食育推進全国大会 in すみだ2015プログラム（大会関連イベント含む）の概要

会場	主な内容
江戸東京博物館 （墨田区横網一丁目4番1号）	開会式、閉会式、シンポジウム、講演会 オープニングセッション、クロージングセッションほか
国際ファッションセンター （墨田区横網一丁目6番1号）	ワークショップ、交流セッション、講演会 「すみだの食育」展示、トークショーほか
墨田区総合体育館 錦糸公園ふれあい広場 （墨田区錦糸四丁目15番1号）	全国の展示、ミニステージ、食育体験ひろば 講習会、子どもの絵画・ポスター展示 こども商店街、地域イベントほか
区内各所	区立幼稚園・小学校・中学校の食育公開授業 まちなかプログラム（料理講習会、講習会など） 各種地域イベントほか

本区がめざした大会の「成功」は、この大会を通して「人と人がつながり、新たな展開を生むこと」、大会運営を通して関わった区民の一人ひとりが「自分にとっての食育」を見つけることでした。

その結果、大会企画の「こども商店街」を翌年も開催したり、すみだ食育 good ネット内に「1から始める夢プロジェクト」が誕生したりしました。



「すみだの食育」イメージ